

目次

まえがき 5

第1章 序論 13

- 1.1 本書について 15
- 1.2 PostScript 言語の発展 18
- 1.3 PostScript レベル2 の概要 19
- 1.4 著作権と商標 22

第2章 基本概念 23

- 2.1 ラスタ出力デバイス 23
- 2.2 スキャン変換 24
- 2.3 ページ記述言語 26
- 2.4 PostScript 言語の使用法 28

第3章 言語 37

- 3.1 インタープリタ 38
- 3.2 文法 39
- 3.3 データ型とオブジェクト 48
- 3.4 スタック 59
- 3.5 実行 61
- 3.6 基本オペレータの概要 66
- 3.7 メモリ管理 71
- 3.8 ファイルの入力と出力 89
- 3.9 名前を持つ資源 104
- 3.10 エラー 119
- 3.11 実行前バインド 122
- 3.12 バイナリエンコードの詳細 125
- 3.13 フィルタリングされるファイルの詳細 143

第4章 グラフィックス 167

- 4.1 イメージングモデル 168
- 4.2 グラフィック状態 170
- 4.3 座標系と変換 174
- 4.4 パス構築 181
- 4.5 ペイント 184
- 4.6 ユーザーパス 188
- 4.7 フォーム 197
- 4.8 カラースペース 201
- 4.9 パターン 226
- 4.10 イメージ 236
- 4.11 デバイスの設定 254

第5章 フォント 287

- 5.1 フォントの構成と使用法 288
- 5.2 フォント辞書 295
- 5.3 文字のエンコード 300
- 5.4 フォントメトリックス情報 303
- 5.5 フォントキャッシュ 306
- 5.6 既存フォントの変更 307
- 5.7 Type 3 フォント 311
- 5.8 固有 ID の生成 315
- 5.9 コンポジットフォント 318

第6章 レンダリング 325

- 6.1 CIE ベースカラーからデバイスカラーへの変換 326
- 6.2 デバイスカラースペースでの変換 336
- 6.3 トランスファ関数 341
- 6.4 ハーフトーン 343
- 6.5 スキャン変換の詳細 354

第7章 Display PostScript 359

- 7.1 複数の実行コンテキスト 360
- 7.2 エンコードされたユーザー名 367
- 7.3 グラフィックとウィンドウシステム 368
- 7.4 ビットマップフォント 374

第8章 オペレータ 379

- 8.1 オペレータについての要約 382
- 8.2 オペレータの詳細 401

- 付録 A 言語仕様と実装に対する変更 659
- 付録 B 実装の制限 669
- 付録 C インタープリタのパラメータ 675
- 付録 D 互換性の方針 685
- 付録 E 標準文字セットとエンコーディングベクタ 695
- 付録 F システム名エンコード 713
- 付録 G 文書構造化の規約 —バージョン 3.0 717
- 付録 H EPS ファイルフォーマット —バージョン 3.0 825
- 付録 I 特定オペレータのガイドライン 855

参考文献 865

索引 869

Colophone 899